

昭和56年度 和歌山県文化功労賞

わ だか のぶ じ
和 高 伸 二

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：広島県

生 年：大正15年

◎業績及び経歴

京都大学文学部から同大学院博士課程(美学・美術史専攻)を修了。

南紀における蘆雪画研究の第一人者であり、その研究成果を論文「南紀諸寺院の長澤蘆雪画」(和歌山県史研究第2号所収)他とともに水準の高い特別展覧会に発表され、近世美術史上の南紀蘆雪画を意義づけられた。

また、県内出身の絵画・工芸など美術家の研究もすすめ、明治から大正にかけて活躍しながら忘れられていた野長瀬晩花を再評価した著書「野長瀬晩花」は、その代表作である。

最近では、根来寺研究にとりくまれ、その総合的な研究体制確立のため、同氏らが中心となり、昭和54年、根来寺文化研究所を設立。同研究所発刊の「根嶺学報」などに研究成果を発表されている。

現在、神戸山手女子短期大学教授。和歌山大学、和歌山大学経済短期大学部、甲南大学でも美術・美術理論美術史などを担当されている傍ら、県文化財保護審議会委員、県史編さん専門委員などを務められている。